



小谷中学校だより



3学期がスタートしました！

令和6年1月12日

いよいよ令和6年がスタートしました。中学校にとって3学期は、激動の時期です。1年生は今年のとめを、2年生は生徒会と来年春の修学旅行を、そして3年生は、進路決定の具体的な動きを行う非常に大切な時間となります。3学期の登校日数はわずか46日。一日、一日を大切に過ごして欲しいと願っています。

3学期始業式の校長先生のお話より

あけましておめでとうございます。新しい年を迎えて、3学期がスタートしました。まずは、令和6年能登半島地震で被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復興をご祈念申し上げます。



さて、「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言うように、登校日数46日間の3学期は、あっという間に過ぎていくでしょうが、「自分の中で節をつくる学期」にしてほしいと願っています。そして、「自分の中で節をつくる」には、「2つの別れ」が大切になります。

1つ目は、「これまでの自分と別れること」です。「前後裁断」という言葉があります。前と後を切るということです。そこをしっかりと切らないと、新しいスタートができないのです。これまでの自分を振り返って、親や先生方、仲間や自分自身に甘えていた自分と別れる決意を固めることで「節」ができるのです。1年生は1年生だった自分と、2年生は2年生だった自分と、そして、3年生は中学生だった自分と決別し、新しいステージに立つ覚悟を決めるのです。

2つ目は、「今こうして出会っている人としっかり別れること」です。それには、「今こうして出会っている人との絆をしっかり結ぶこと」です。私が大切にしている言葉の一つを紹介します。「人間は一生のうちに逢うべき人には必ず逢える。しかも、一瞬早すぎず、一瞬遅すぎない時に」これは、教育者 森 信三（もりのぶぞう）先生の言葉です。この言葉によれば、私と皆さんとの出会い、皆さんと先生方との出会い、皆さん一人一人の出会いは必然であり、運命であったと言えます。だからこそ、相手を思いやる心も生まれてくるのだらうなあと思えてきます。

しかし、どんなに運命的な出会いであっても、必ず別れがやってきます。「別れも必然」なのです。昨年末から、3年生との別れに向けて絆をさらに深く結ぼうと、1・2年生が合同合唱練習を開始しました。嬉しい限りです。「別れを大事にする人は、新たな出会いも大事にできる人」です。「いい別れには、いい出会い」が、必ず待っています。別れを一つの節として、さらに自分自身を成長させていくのです。

これまでの自分と別れる決意を固め、今こうして出会っている人との別れに向けて絆を深めることを通して、「自分の中で節をつくる学期」にするために、1日1日を大事にしていきましょう。

がんばれ！スキー部！

始業式の1月9日にスキー部の壮行会を行いました。アルペン、クロス、それぞれで今までの練習の成果を発揮してほしいと願っています。

ファイト！ 小谷中スキー部！



能登半島地震支援のため、生徒会が動き出しました



1月1日に起こった能登半島地震に際し、「自分たちもなにかできることをしたい」と生徒会が動き始めました。

1月11日(木)に行われた第一回生徒集会は、2年生が中心となって行う初めての生徒会でした。計画では「生徒会全体目標決め」を予定していたようですが、それよりも優先して、「地震に対して、自分たちも何かできることをしたい!」と考えてくれたようです。生徒会長の言葉です。

今回の集会では、令和六年能登半島地震について知り、自分たちにできることを考えたいと思います。本当は、一回目の集会のため、新しい委員会での具体的な目標や、アドバイスなどを話し合おうと思っていました。ですが、1月1日、新年早々、死者数が約200人以上にも上る、能登半島地震という大きな災害が起きてしまいました。



もし、急に自分の周りから、大切な友達や家族がいなくなってしまうと考えるだけでも苦しくなってしまうませんか?幸いにも、被害に遭わずにすんだ方もいますが、その方の仲の良かった友達、いつも挨拶を交わす近所のおばあちゃん、大切な家族などを急に失い、苦しんでいる人がいます。

そこで、校内の一人一人の良さを認め、大切にすることでなく、日本や世界全体の一人一人を大切にすることも、私たちになにかできることはないのか話し合ってみようと考えました。

この話を受け、副会長の司会で「自分たちにできることってなんだろう?」と全員で意見を出し合いました。

「支援物資を送る」「応援の手紙を送る」などの意見も出ましたが、ニュースをよく見ている生徒が「今は、行くだけでも大変で、迷惑になってしまうらしい」「ここから物を送るのも難しいのでは?」などという話も出ました。そして、「今は募金が一番いいのでは?」との結論になり、生徒会主催で**募金活動**をすることに決定しました。

自分たちにできることってなんだろう?						アルミ缶回収 14	情報を海外へ向け発信する 8	
募金をする 9番	元気つける動画を作る 14番	支援物資 1番	支援物資を送る 5	募金活動 14番	募金 16	手紙を送る 5	コンテナハウス6番	募金をする 3
募金 5	募金 11番	募金と一緒に手紙を送る 2	実際に子供部屋へ行く 14番	物資を送る 13	物資を贈る 11番	支援物資を送る 10	団体に協力してもらって支援物資を送る 12	支援物資 14
募金 1番	募金 8	心ケア 12	募金 13	理解する 7	募金 7	防災バッグ 14	千羽鶴を作って贈る 11番	特産物をわたす 15
ボランティア活動 12	ボランティア 13	募金活動 14番	募金で支援物資を買って送る 10番	応援メッセージ 10	応援手紙や動画 15	村内の方からも募金の活動を手伝ってもらおう 4	千羽鶴を作って贈る 11番	安心させるためにメッセージを贈る 11番
ボランティア 15	水送る 1番	募金活動 14番	募金で支援物資を買って送る 10番	応援メッセージ 10	応援手紙や動画 15	村内の方からも募金の活動を手伝ってもらおう 4	千羽鶴を作って贈る 11番	安心させるためにメッセージを贈る 11番

ご承知おきください。



小谷中学校生徒会 **能登半島地震募金**
 期間 1月15日(月) 17日(水) 19日(金)
 場所 昇降口
 時間 朝 7:45~8:05
 昇降口で生徒会役員が募金箱を持っています

ぜひご覧ください 小谷中ホームページの内容が充実しています!

<https://www.jhs.otari.ed.jp/> 「小谷中学校」で検索



特に校長通信コーナーはほとんどリアルタイムに学年の活動写真や行事の様子を紹介

文責：教頭